

科目区分	専門分野Ⅱ	科目名	老年看護援助論Ⅲ (腎・泌尿器)	対象学生	第2学年
		単位数(時間数)	1単位(15H)	学 期	第1学期
担当講師	看護師				
科目目標	1. 腎・泌尿器系の健康障害をもつ対象への看護が展開できるための知識を習得する。				
授業概要					
第1回	内部環境(体温、血糖、体液量、電解質、酸塩基平衡)調節機能障害のある対象の看護 1) 主な症状のある対象の看護 (1)浮腫 (2)脱水 (3)循環器系の異常(キーワード:高血圧) (4)酸塩基平衡 (5)尿毒症 2) 検査・処置を受ける対象への看護 (1)腎生検 (2)X線検査(血管造影、IVP、RP等)				
第2回	内部環境(体温、血糖、体液量、電解質、酸塩基平衡)調節機能障害のある対象の看護 1) 治療を受ける対象への看護 (1)急性期持続血液濾過透析 (2)血液透析 (3)腹膜透析<CAPD> (4)腎移植				
第3回	内部環境(体温、血糖、体液量、電解質、酸塩基平衡)調節機能障害のある対象の看護 1) 病期や機能障害に応じた看護 (1)急性腎不全 (2)慢性腎不全 (3)腎移植術後				
第4回	排尿機能障害のある対象の看護 1) 主な症状のある対象の看護 (1)排尿に関連した症状 2) 検査・処置を受ける対象への看護 (1)尿検査 (2)膀胱鏡 (3)生検(膀胱組織検査、前立腺組織検査等) (4)尿流動検査 (5)残尿測定 3) 治療を受ける対象への看護 (1)膀胱切除術 (2)前立腺切除術 (3)ホルモン療法				
第5回	排尿機能障害のある対象の看護 1) 病期や機能障害に応じた看護 (1)腎・尿路結石 (2)腫瘍(腎臓がん、膀胱がん)				
第6回	食事療法を受ける対象への看護 薬物療法を受ける対象への把握 1) 加齢に伴う薬物動態の変化 2) 服薬管理とリスクマネジメント 3) ステロイド療法 4) 化学療法				
第7回	手術療法を受ける対象への援助 1) 手術を受ける高齢者の特徴 2) 高齢者に特有な手術 機能障害を持ちながら生活する対象への援助 1) 排尿機能障害 2) 尿管ストーマ造設術				
第8回	終了試験				
看護師国家試験出題基準					
体液量調節機能障害、電解質調節機能障害、酸塩基平衡調節機能障害、急性期持続血液濾過透析、血液透析 腹膜透析<CAPD>、腎移植、急性腎不全、慢性腎不全、慢性腎臓病、腎移植後、畜尿・排尿障害、生命・生活への影響 尿流動検査、残尿測定、膀胱鏡、膀胱切除術、前立腺切除術、ホルモン療法、腎・尿路結石、腫瘍(腎癌、膀胱癌) 前立腺肥大、男性生殖器手術、尿失禁(加齢による病態と要因、アセスメント、予防と援助)					
授業の進め方					
講義を中心とするが、透析療法については、教材を活用しながらの学習を取り入れる。					
履修のポイント・留意事項					
形態と機能、疾病・治療論、病態診断学、診療補助技術、基礎看護援助論などの学習内容を想起する。 この科目では、老年看護学実習へつながる老年期の対象を理解するための基礎となる学習をする。					
テキスト					
系統看護学講座 老年看護学 医学書院 系統看護学講座 成人看護学[8] 腎・泌尿器疾患患者の看護 医学書院					
評価方法・配点					
終了試験(100点)、課題レポート、グループ活動への参加状況で総合評価する。					